

「2021年3月ダイヤ改正について」提案交渉①

1. 2021年3月ダイヤ改正の概要

「泉外旭川駅」開業や新型車両導入を軸とし、利便性向上を図る。また、引き続き各線区において輸送動向を踏まえたワンマン列車の拡大や輸送力の適正化を図る。

2. 実施日

2021年3月13日(土)

3. 各線区における主な輸送改善

(1) 新幹線

- ①「はやぶさ・こまち45号」は上野駅停車とし、利便性向上を図る。
- ②一部「はやぶさ」の運転を見直す。

(2) 奥羽線

- ①秋田駅～土崎駅間に「泉外旭川駅」を開業し利便性向上を図る。

組合

- ・泉外旭川駅は無人となるのか？
- ・無人とした理由は？

会社

- ・無人となる。市の試算では1日 2,000 人の利用を見込んでいる。
- ・停留所であり、自治体から簡易委託の要請もなかった。

②奥羽本線、津軽線の一部列車に「GV-E400系」を投入する

組合

- ・1両ワンマンも運用されるが、混雑が予想されるのではないか？

会社

- ・定員は99名となる。利用者の減少により1両でも可能と判断した。

③北常盤駅下り1番線を使用停止し、メンテナンス作業の軽減を図る。

組合

- ・副本線の使用停止について、他の駅でも今後行う予定があるのか？

会社

- ・デメリットもあるがダウンサイジングや保守の簡素化を考え、他の駅でも行うことも考えている。

④ご利用状況にあわせ、一部列車を土休日運休とし、輸送力の適正化を図る。

組合

- ・土休日運休の判断理由は？

会社

- ・利用状況による輸送力の適正化を図った。通勤通学列車で土休日の乗客は少ない。

No.33へ続く